日本クリスチャン・アシュラム連盟
Founded by Eli Stanley Jones　　冬季号

JESUS IS LORD

日本アシュラム

WINTER 1988　　United Christian Ashrams of Japan　　61

開　心・静　聴・充　満・献　身・奉　仕

静聴と教会奉仕

関東アシュラム委員長　向　山　自　助

朝目が覚めると、冬の今は、ベットの中で静聴します。ある方は朝はぼーとしていて、なかなか静聴することができないのだそうです。またある方は神様に御挨拶するのだから、口を濯ぎきちんとしてから静聴に入られると証しされました。わたくしは神学校へ入学するまで、父に見習って床の上に正座し祈って休み、目が覚めると真先に祈って始めたのですが東京へ出て来て、医学博士の先輩宅に下宿した時、神様は霊なのだから型はどうでも良いと言われ、床の中に入り込んでそのまゝ祈ることを教えられました。始めは祈りにくゝて困りましたがだんだん馴れてゆきました。又病気の人は寝たまゝ祈っていても良いではないか等と理窟も考え出したりして……。今でもそれで良いとは考えていないのですが、朝早くから起き出して音をたてるとまわりに迷惑をかけると思い、明るくなるまで静かに床の中に居ります。

さてアシュラムは朝起きると静聴から始まることは申し上げるまでもないのですが、ある方は起きると15分間教会の週報にある一日一章を静聴されます。忙しい毎日ですからたった15分です。電車で出勤する途中バークレーか何かの註解を読みます。寝る前信徒の友の日毎の糧を読んで静聴される。このような信仰生活に入られると生活そのものが変化してきて、今とても祝され張り切っておられます。しかし私は第Ⅱコリント10章12節以下から、「立っていると思う者は、倒れないように気をつけるがよい。あなたがたの会った試錬で、世の常でないものはない。神は真実である。あなたがたを耐えられないような試錬に会わせることはないばかりか、試錬と同時に、それに耐えられるように、のがれる道も備えて下さるのである。」と読み祝されているのはまだ弱いから耐えられるようにのがれる道を備える程強くなっていないのだと話しています。

ホセア11章1―4の4節の後半は意味が不明確と言われているところですがわたくしは次のように静聴しています。

「わたしはイスラエルを愛の絹糸で導いた（のを彼らは知らなかった）

わたしは乳のみ子を

その頬にすりよせるようにだき上げ又身をかゞめて食べさせた。」と。

めぐみに守られて育てられたイスラエルという放蕩息子は、愛のきずなを切って飛び出した。しかし目に見えない細い絹糸は強く仲々切ろうとしても切れず、父が頬にすりつけて愛撫するように、何一つこと欠かない恩寵の下に、尚又イスラエルの上にかゞみ込んで、自己中心でがんこな者の上にかゞみ込んで、そのからだに最も必要なものを配慮される感受性に溢れる、やさしさに満ちた父の愛の下に帰り来るのを待たれることを知らされるとき、「イエスは主である」と無条件に平伏し、信仰者の一人としての信仰の確立と同時に、自己の属する教会の忠実な会員として祈りと奉仕の生活に励まされない訳には参らないのです。教会はイエス・キリストの血であがない取られたものであります。わたくしは自分の属する教会を何物にもかえ難く愛しているのです。しかしその教会の中には狂暴なおおかみがはいり込み、容赦なく群れを荒すようになることが使徒行伝20章28―29節に書かれています。アシュラムの原点に堅く立ってご奉仕を全うさせていただき度いと願っています。

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生れたファミリーの全国的な交わりであって、常に新しい地区（単位）の参加を期待している。

理事長　海老沢宣道
編集人　淵江淳一
発行人　大石嗣郎
定価　一部60円　〒60円

「祈禱の順序」

―札幌アシュラムに奉仕して―

在日大韓西成教会　金　元　治

この度はいたらぬ者が札幌アシュラムの助言者として招かれましたことを無上の光栄と存じます。

11月2日から3日にかけて、北海道クリスチャンセンターにて45名ほどの熱心な祈りの友の集まりには感激しました。お互いが持っている問題を語り合っては祈りによって神の恵みを求めていたのです。全体での開心よりは、小グループでの開心のほうが、より親密なものになったようです。お互いが家族の一員として親身になって聞き、祈り合えたからです。

北海道におられる主にある兄姉妹の暖い雰囲気の中で、私も思い切り毒舌を混ぜながら話すことができたことを幸いに思います。

報告になると、今度金元治牧師を大阪より迎えて、メッセージはこうであったとか、またはその感想はこうであったとかの評価ができると思います。自分で報告するので、私のメッセージや、祈りの群との交わりや、祈りについての教え方がどうであったかとかを、手前みそで語るので、ちょっと気がひけます。大阪から北海道まで行くのとあの北海道アシュラムの格調の高さに合うようなメッセージを語らねばならないことなど、自分なりの心配をしたのです。しかし前述のようにかの地での熱い信仰の兄弟姉妹によって、自分の足りなさを忘れて、思い切り話させていただきましたことを感謝しています。

私はつねづね祈りには順序があると思っていましたので、その順序に従ってメッセージを語ったのです。それは、①感謝、②罪の悔い改め、③お願い、④誓願、⑤讃美、⑥順応、⑦主の名による祈り等です。

そして始めはもちろん父なる神への呼びかけ、最後には「アーメン」があるわけです。これを全部札幌で話す時間はなかったのです。

感謝に次いで、私たちが神の守りの中に無事に過せたこと、その多くの罪にもかかわらず、被い赦して下さったので、罪ある身が聖なる主の御名を呼び、祈りが与えられたことを感謝するのです（コロサイ3・15）。

次は悔い改めの祈りです。祈りと言えばやはり願いの祈りが多いのですが、最も必要なのがこの罪の悔い改めです。主イエスの宣教の第一声も、「時は満ちた、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」（マルコ1：15）であったのです。特に長く信仰生活をしていると、悔い改めが御題目みたいになるのです。罪には名前があります。密室で隠れたところにおられる父なる神と真剣になって祈っていると、本当に主の十字架の恵みがわかって来るのです（マタイ6：6、第一コリ7：9）。信仰生活の長い人ほど自分の罪を深く探り出して罪のざんげをなすべきです。なまじっか信仰歴の長さに安住することは、神の御前にて最も危険なことです。そして常に聖書に親しむことです。聖書を暗記しようと努める人が多いのですが、これは間違いです。聖書は霊的糧ですから、読んでいると自分の知らない恵みと罪の深さが見えてくるのです。この恵みを覚えることが大切なのです（ルカ18：9―14、24：32）。

お願いの祈り。これは世界が神の支配下にあることに基づいています。人間は信仰的にも道徳的にも肉体的にも弱く、思うようにならないことがあまりにも多いので、思い悩むのです。しかし神は全能なる父であられるので、子が親にねだるように幼な子の気持になって神に祈り、求めるなら、どんなに深い罪の赦しのための祈りにも、どんなに不可能に見えることについての祈りでも、また難病のいやしのための祈りでも、神の御旨に従って聞き入れられるのです。

ただ祈りへの応答は即座に聞かれるものと、または聞かれないものとがあるのです。しかしこれらいずれの場合も、皆神の御恵みによるのです（ルカ1：13、11：9、第二コリ12：8―9）このようにして、祈りの恵みによって、もっと強い信仰生活の勝利を得たいものであります。

「大乗仏教とキリスト教」

渕江淳一　著

日本アシュラム事務局扱い
定価　1,500円（〒共）
東京宗教研究所発行

大乗仏教をも大きく包摂することのできるキリストの福音を語らんとしている著者の脈々たる気魄をこの論説から感得していただきたい。（小池辰雄師の序文より）

『イエスは主である』

アシュラムの五大原則

海老沢宣道著　好評・再版出来

世界アシュラムの標語

（ピリピ書　第二章　十一節）

（三）　聖霊の啓導と充満
（四）　神の国の体験と献身
（五）　教会への奉仕と伝道

スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシュラムの五大原則と守り方を平易に解説。

〈報告〉

第22回九州アシュラム

「神の国の体験」を主題として

九州アシュラム委員会

九州アシュラム委員会（川野直人委員長）は数ケ月の準備打合せを祈りのうちに進め、十月19、20日の二日間、会場は例年の通り、福岡女学院の八木山寮とし、助言者として連盟理事長の海老沢宣道師の御来援を四年ぶりに得ることができた。

第一日午前10時より開会礼拝で川野委員長はヨハネ福音書15章一―八により『このアシュラムでしっかりと主イエスとの関係を強化して豊かに実を結びたい』と奨励、次で開心の時とオリエンテーションが海老沢師により、各自の真のニードを知るために東洋的黙想の時を持ち、一同は深い悔改めと開心に導かれた。そして神の国へ入る備えを完全にする必要（ニード）を知らされた。お話の間にアシュラム聖歌を多く取入れられたことも私たちの心を開く大きな助けとなったように思う。午後は三組の『祈りの細胞』に分れて、お互いのニードのために祈り合った。コロサイ組長は山本繁夫、輝やき組長は栗本高幸、ガラテヤ組長は鍋倉勲の諸師が司会された。続いて『静聴の時』にはコロサイ書一―二章を開き、ひたすら主の御声をきき、与えられた恵みを分ち合って、この午後一杯、約四時間を同じ組の人々と過したので、主に在る交わりが急速に深められたことは感謝に耐えない。

夕食後、七時から九時まで『福音の時』として助言者海老沢師がマタイ福音書六章により主が求めておられることは、私たちの祈りを更に深め広めるように革新することである。殊に個人的祈りから、神国待望の祈りへと躍進強化するようにと訴えられた。そのあと連鎖祈禱を守る。

第二日朝六時に早天祈禱会と続いて『静聴の時』に入り、コロサイ書三―四章から主の御声を聴き、朝食後にその恵みを分ち合い、記念写真とコーヒーブレイクで互いに交わりの時を持ち、前日同様三組の『祈りの細胞』（第二回）で互いの新しい決意に主の御加護を祈り、全体で『あかしの時』を栗本師の司会で守る。山本繁夫師、菅原寅夫兄、熊本美砂子姉、田中好美姉、鍋倉勲師、香月道子姉の六名から最近の体験や今回のアシュラム生活から受けた主の恵みについて感動的な証しを伺うことができた。中食後、最後の『充満の時』となり、海老沢師の指導で、イエスを主として迎えるため、マラナ・タの歌と祈りを捧げ、ひざまずいて御霊の充満を受けた。一同は全く造り変えられて主のものとされたこと、御国に入る備えのできたことを喜び、手を結び輪になって互いに感謝し、川野委員長の祈りをもって閉会。『慕いまつる主のあとを、いずくまでも行かん』と歌いつゝ、北に南に別れて行った。ハレルヤ。

第22回 九州アシュラム 八木山研修寮

新刊好評

サトタル・アシュラム指導者
D・P・タイタス著
植村俊雄訳

『御国を来らせ給え』
神の国に就ての研究

A6判40頁定価二百円〒70円
スタンレーの後継者インドのタイタス師の名著

最新刊好評

スタンレー・ジョーンズ博士の処女作
忽ち世界各国でベストセラーになった

インド途上のキリスト

金井為一郎元訳　渕江淳一新訳
美装幀　B6判　250頁　価1900円　〒250円

若干23才で英国統治下のインドに単身赴任。60年余の生涯を献身し、現代のパウロと称された博士が、主イエスから啓示された奥義は何であったか。

〈予　告〉

第七回国際アシュラム

国際運営委員会

日時　一九八八年五月14－21日
会場　北ソウル　オリンピヤホテル
－なお五月19－21日の三日間は韓国政府の招待で歴史的重要文化財と産業施設の見学の予定。

五月22日(日)は韓国教会にて礼拝

われわれは韓国の教会を訪問して、そこでわれわれの兄弟姉妹を通して、いかにキリストが働らかれたかを見る驚ろくべき機会を持つであろう。……強靱な祈りの生活を経験しながら、小さな群を通しての宣教奉仕からいかにきわだって生長しつつある教会になったか。また、われわれが礼拝に、祈りの小集会に、そして日曜学校のクラスに出席し、家庭を訪問するときに、クリスチャン・アシュラムの運動において、われわれの経験を彼らと共に持つことができるであろう。

韓国の牧師達がホスト役に当る。

費用は　＄一一八〇・〇〇

（旅費と在韓国9日のホテル食事代、アシュラムの会費を含む。但しそのうちの五回の食事代は含まれていないので各自自弁して下さい）

主　催
国際運営委

J・マシューズ
B・ピカード
G・ハンター
D・デイビス
C・ハリス

〈寄稿〉

教会祈禱会の改革を望む

森　政雄

日本アシュラム誌を御恵送下さって有難う存じます。体力が年々衰えるように感じますが、神様に支えられて躓いては立直っています。

さて近頃の読書中に感じる事は、従来の日本の教会の祈禱会は改めなくちゃいけないことです。先日トルストイの「戦争と平和」を読んでフリーメイソンの新入者の試練法を知りましたが、自分の持物、財産、地位、名誉、学問の誇りも皆捨てさせて主の前に裸で立たせることです。基督者の祈りにもそれが必要なのであって、祈りには何か恵みを乞うばかりでなく、一切の誇りをすてて、神に近ずくこと、神聖への無限接近（カント）、神人合一の修練がこのアシュラムで実習され、またそれを指導するためには、禅宗の座禅の導師のような指導者がキリスト教会にも必要なのだと痛感しています。

御健勝を祈ります。

（市川三本松教会名誉牧師）

◆集会報告◆

▼関西アシュラム

昨年10月9日－10日の一泊二日千里山シオン・ロッヂにおいて、エペソ書3章19節にもとづき、「充満」という主題にて開催された。

▼有馬蔵弘師は清水ケ丘、川口両教会におけるアシュラム方式の修養会に奉仕された。

◆集会予告◆

▼城北アシュラム
日時・2月11日（木・祝日）
会場・天門教会
電話申込先・（三八五）七四九一

▼城西アシュラム
日時・4月29日（金・祝日）
会場・高円寺教会
電話申込先・（三三〇）〇〇五一

▼バルナバアシュラム
日時・5月3－5日（全休日）
会場・奥多摩福音の家

◈賛助献金及分担金感謝◈

（60号以後）

飯島　庸江	三〇、〇〇〇円
中路　嶋雄	四〇、〇〇〇円
佐藤やす子	五、〇〇〇円
関西アシュラム	五〇、〇〇〇円
九州アシュラム	二〇、〇〇〇円
合計	一四五、〇〇〇円

（大石生）

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を

東京都目黒区中央町1－21－10

スタンレー・ジョーンズ博士の遺著
神の然り　B6判　220頁
定価1200円 送料250円
〈キリストに明け渡した人生〉
海老沢宣道　訳
日本を愛し，戦後十回の伝道を終え帰米後卒中に倒れた今世紀世界最大の宣教師が死に勝つ勝利の確信を説く万人必読の書。

アシュラム生活の最良の友
アパ・ルーム
（年6回刊行の日々の糧）
国際的，超教派的，霊的な読物
価200円〒70円，年1,620円
発行所（256）小田原市国府津3-11
振替口座（東京）1-193834　アパ・ルーム
日本語版は創刊以来36年続行中